

令和5年度 ボランティア養成講座①

令和5年 7月25日 (火)

今年も「ボランティア養成講座」が、視聴覚室を会場に、30名の高校生と15名の保護者の参加のもと、開催されました。

開講式のあと、本校 二階堂俊介教諭より「障がいとパラスポーツ」についての講義演習がありました。前回のパラリンピックでの話や海外でのボランティア活動の話を実際に聞き、実際の映像や写真を食い入るように見る高校生や保護者の姿が見られました。

高校生と保護者とのグループトークでは、子育ての苦労や喜び、子どもとのかかわり方などを高校生が質問し、具体的な生活場面について保護者が答えるなど、6グループそれぞれに終始和やかな雰囲気の中で熱心に話し合いが行われました。

感想発表では、次回の夏祭りや太陽祭での実際のボランティア活動を楽しみにするといった発表があり、実りの多い講座になりました。



【開校式の様子】



【講座の様子】

【グループトークの様子】



参加者の感想

高校生より

○今まで障がい者に対して、自分たちとは違うといったフィルターがかかっていることが多く、そのような人たちを助けることが良いことだと思っていました。それが間違っていることに気が付きました。将来先生を目指しています。自分がどのような先生になりたいのか悩んでいる中、講師の先生や保護者の方々の話を聞いてなりたい先生像が見つかりました。

○障がいを持つ方に対するの考え方が変わりました。大変そうだから、助けたいと言う思いはあるけど、その人に合った解決法を考えたりすることで、その子が成長することができるかと保護者の話を聞いて思いました。

すぐに人のことを理解するのは難しいけど分かるように伝わるようにコミュニケーションをとることが大切だと分かりました。

保護者より

○二階堂先生の講座は具体的でとても面白かったです。自己紹介などは高校生にとって、興味があり（なぜこの仕事に就いたのか）希望になるのではと思いました。

まだまだ障がいを理解してもらうには時間がかかるかと思いますがみんなが共存して地域の中で暮らせるようになればいいなと思いました。

○多様性という言葉が身近になっている現状でも、まだ障がい者への偏見はなくなる現状を感じました。また、#We The 15というキャンペーンを初めて知り、今の社会に広めていくべき考え方だと強く感じました。

保護者さんの方の話を聞き、私たちにできることは「普通」に接することだと思いました。

○今回の講座を通して、「障がい」にも様々なものがあることを知れました。私が今までかかわった障がいをもつ子の中に大きい声で叫んでいた子がいたのですが、当時は小学生だったのでこわかったただけだったけど今回のおかげで当時のあの子は自己表現していたことが分かりました。気付くことができよかったです。

○パラスポーツについての話、勉強になりました。機会があったら観戦してみたいと思いました。高校生がたくさん参加してくださって感動しました。話を一生懸命、真剣に聞いてくださって嬉しかったです。

○高校生が真剣に話を聞いて、質問などをしていただき、こういう方が今後一人でも増えて、我が子が生きやすい世の中になったらいいなと思いました。